



しよれっと Palette

「ありがとう 伝えて広がる 協同の和」

8
2019 August
vol.228

しよれっと

ありがとう
伝えて広がる

協同の和

8

vol.228
2019 August

URL <http://www.ja-okayama.or.jp/>

発行/岡山市農業協同組合 〒700-8535 岡山市北区大供表町1-1
発行人/太田 誠一 編集/総務部総務課 TEL086(225)9846



特集

「第19回通常総代会」

農を担う
牧石ねぎ農家 藤田 英行さん

牧石地区……………10ページ

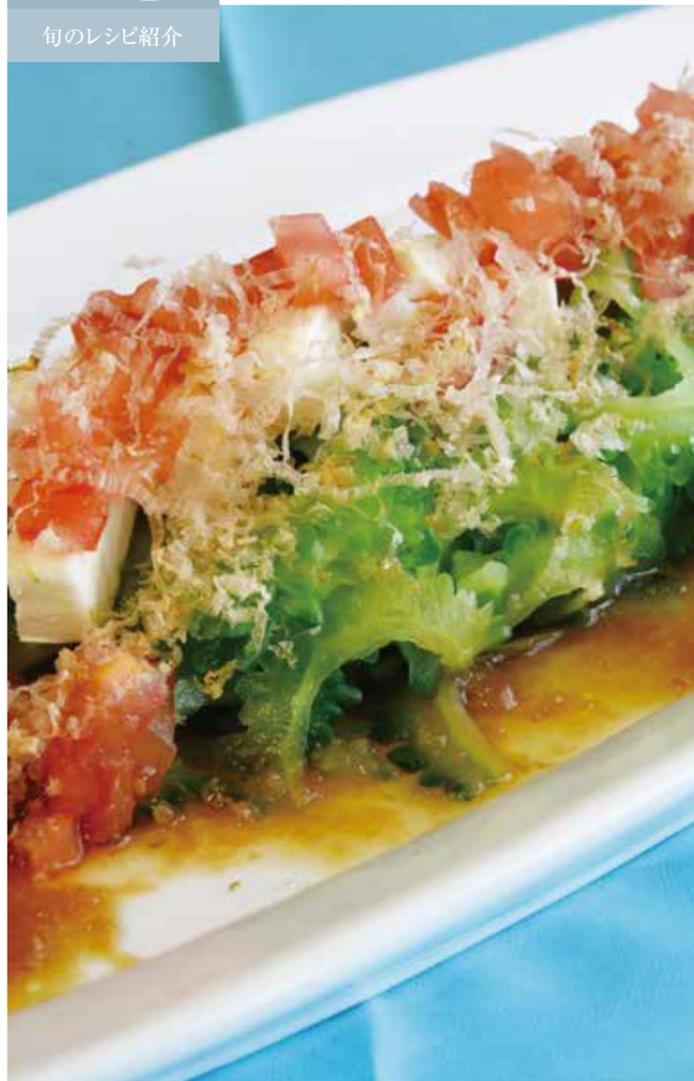


JA岡山は、組合員募集中です!

耕そう、大地と地域の未来。

Recipe

旬のレシピ紹介



ゴーヤーと 焼きナスのサラダ

【材料：2人分】

- ゴーヤー …………… 1/2本
- ナス(焼いて皮をむいておく) …… 2本
- クリームチーズ …………… 30g
- トマト中 …………… 1/2個
- 塩 …………… 適宜
- かつお節 …………… 適宜

ドレッシング

- ポン酢 …………… 大さじ2
- 大根おろし …………… 小さじ2
- オリーブ油 …………… 小さじ2

【作り方】

1. ゴーヤーは半分に割り種とワタを取り、薄切りにして塩でもみ、熱湯(材料外)でさっとゆで、氷水(材料外)に落とす。
2. 器に食べやすい大きさに切った焼きナスを並べ、水気を切ったゴーヤー、拍子切りにしたクリームチーズ、みじん切りにしたトマトをのせ、合わせたドレッシングを回し掛け、かつお節をのせてでき上がり。

レシピ提供/永井智一(ながいともかず)
茨城県笠間市にある「キッチン晴人(ハレジン)」
オーナーシェフ

Aglogram

あぐろ グラム

編集後記

夏の思い出づくり にいかが

今回のあぐろグラムでは玉野市の淡川海岸を紹介
します。

白砂青松の海岸線は約1キロメートルの長さを誇り、
「日本の渚百選」、「快水浴場百選」にも選ばれている
海岸です。対岸に瀬戸大橋を臨み、瀬戸内らしく波も
穏やか。多くの方はここで海の学習を経験したことが
あるのではないのでしょうか。

近年では、海水浴だけでなく、ビーチスポーツも盛
んで、バレーやヨガ、パラグライダーなどが年間を通
して楽しまれています。

夏休みに入ったお子さんやお孫さんと一緒にお出か
けてみるのはいかがでしょう。



※「あぐろグラム」とは
「アグリ(農業)」と「ログ(記録)」, 写真専用投稿ソーシャ
ルネットワークサービス「インスタグラム」をかけた
造語です。

編集担当 住吉 沙弥香



各議案を審議する総代

第19回通常総代会 全議案を可決承認

当JAは6月28日、岡山市北区駅元町の岡山コンベンションセンターで第19回通常総代会を開催しました。総代数496人のうち、446人(本人出席260人、代理人出席0人、書面出席186人)の出席がありました。

総代会では「平成30年度事業報告及び剰余金処分案の承認」、「令和元年度事業計画の設定」、「中期計画の設定」、「定款の一部変更」、「監事監査規程の一部変更」、「信用事業規程の一部変更」、「役員選任」、「会計監査人の選任」、「経営管理委員、理事、監事の報酬の決定」、「退任役員に対する退職慰労金の支給」の全10議案が審議され、全て原案通り承認されました。次ページからは平成30年度事業報告の要約、主な事業の活動内容と取組結果についてご報告いたします。



あいさつをする宮武博経営管理委員会会長



議長団の三宅正義総代(左、灘崎地区)と大森勇二総代(西大寺地区)

平成30年度事業報告／要約版

主な事業の活動内容と取組結果についてご報告させていただきます。

平成30年度は自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の実現にむけて、ご承認いただいた事業計画に基づき各事業に取り組みました。

その結果、日銀のマイナス金利政策や天候不順による販売高減少のため、収益低下が懸念されたものの、総じて計画通りの事業展開となり、事業利益・経常利益ともに計画に対して上回る結果となりました。

また、事業基盤の強化を図るため、農業後継者をはじめとする正組合員の一戸複数組合員化に取り組みとともに、次世代に対する地域住民の准組合員加入を推進しました。

損益計算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

単位:千円

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|--------------|------------------|-----------------|------------------|
| 事業総利益 | 8,926,916 | 事業外収益 | 547,674 |
| 信用事業総利益 | 4,787,096 | 事業外費用 | 216,316 |
| 共済事業総利益 | 2,528,352 | 経常利益 | 1,360,438 |
| 購買事業総利益 | 479,184 | 特別利益 | 262,070 |
| 販売事業総利益 | 478,811 | 特別損失 | 1,550,086 |
| 保管事業総利益 | 75,716 | 税引前当期利益 | 72,422 |
| 利用事業総利益 | 532,715 | 法人税等合計 | 143,204 |
| 宅地等供給事業総利益 | 79,004 | 当期剰余金 | △70,781 |
| 旅行事業総利益 | 20,146 | 当期首繰越剰余金 | 257,146 |
| 福祉事業総損失 | 814 | リスク管理対応積立金目的取崩額 | 1,296,719 |
| 農用地利用調整事業総利益 | 3,986 | 営農振興対策積立金目的取崩額 | 24,913 |
| 指導事業収支差額 | △57,281 | 土地再評価差額金取崩額 | 99,358 |
| 事業管理費 | 7,897,835 | 当期末処分剰余金 | 1,607,355 |
| 人件費 | 5,123,222 | | |
| 業務費 | 920,247 | | |
| 諸税負担金 | 285,081 | | |
| 施設費 | 1,492,401 | | |
| その他事業管理費 | 76,884 | | |
| 事業利益 | 1,029,081 | | |

剰余金処分

単位:千円

| 科目 | 金額 |
|-------------------|------------------|
| 1.当期末処分剰余金 | 1,607,355 |
| 2.剰余金処分額 | 1,141,329 |
| (1)利益準備金 | 200,000 |
| (2)任意積立金 | 744,136 |
| (うちリスク管理対応積立金) | 669,223 |
| (うち施設整備強化積立金) | 30,000 |
| (うち指導事業強化積立金) | 10,000 |
| (うち営農振興対策積立金) | 24,913 |
| (うち電算情報システム開発積立金) | 10,000 |
| (3)出資配当金 | 197,193 |
| 3.次期繰越剰余金 | 466,025 |

(注)

- 出資配当は年2.0%の割合です。ただし、出資配当の対象は当組合定款第76条第4項の規定によります。
- 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用(いわゆる教育情報繰越金)に充てるための繰越額23,000千円が含まれています。

指導事業

【営農活動】

営農指導機能の強化・充実に
図るとともに、農畜産物の生産振
興・意欲ある担い手経営体の育
成・支援による産地の維持・発
展に取り組みました。

① 営農指導

担い手対応の機能を加えたT A
C指導員体制を構築し、指導体
制の拡充を図るとともに、麦ほ場
の土壌診断による適正な土づくり
指導・水田フル活用の推進・栽培
講習会開催・農業経営管理の支
援などに取り組みました。

② 農畜産物の生産振興

業務用や加工用に需要のある
「アケボノ」の安定多収生産技術
の確立にむけた実証試験・備南
育苗施設の利用促進による野菜
の作付推進や作付拡大に取り組
みました。

③ 育成・支援・産地拡充

「就農トータルサポート事業」

や「新規就農応援事業」への取り
組みとしても農業塾、ぶどう農
業塾をはじめとする各種栽培講
習会による農業生産基盤の底辺
拡大に取り組みました。

【生活活動】

「豊かで暮らしやすい地域社会
の実現」を目指して、女性部組織
等と連携しながら、健診等の生
活文化活動や食農教育に取り組
みました。

【相談活動】

税理士による税務相談会や所
得税および消費税の確定申告支
援を実施するなど、JA岡山青色
申告会を基軸とした税務相談活
動に取り組みました。

【広報活動】

広報誌「ばれつと」、「あぐろぐ
OKAYAMA」、「笑味ちゃん天
気予報」、ホームページ等への情
報掲載など、さまざまな方法で
JA事業や農業・生活文化活動へ
の取り組みについて情報発信に努
めました。

信用事業

地域の皆さまとの結びつきを強
めて将来にわたりお取引をいた
だくため、組合員・利用者二
ズに合わせた商品・サービス提
供をきめ細かく行い、お客様満
足度を高める事業活動を行いま
した。

【サービスの強化】

組合員・利用者の皆さまの視
点に立った相談機能の充実に努
め、年金相談会、ローン相談会、
遺言信託個別相談会などを開催
しました。

【個人貯金の増強】

訪問活動に加え、年金友の会
等により年金振込指定の地域シエ
ア向上に取り組みました。

【農業資金への対応】

支所と営農センターが連携
し、農業資金需要に対して各種
制度資金・担い手対象資金によ
り的確な資金対応に取り組みま
した。

共済事業

組合員・利用者の皆さまの「安
心」、「満足」を高めるため、保障
点検を基軸とした活動に取り組
みました。

【相談・普及活動】

「3Q訪問活動」、「あんしん
チエック」による加入内容説明・
保障点検を実施し、ニーズに沿っ
た保障提案に努めました。

【審査・査定・保全業務】

新契約引受、共済金の支払処
理の迅速化・適正化に努め、契
約管理に取り組みました。

【広報活動】

「交通安全教室」、「書道・交通
安全ポスターコンクール」、「ア
ンパンマン交通安全キャラバン」等、
皆さまとのふれあいを通じて、J
A共済のイメージアップを図りま
した。

購買事業

JA岡山プライベートブランド
肥料および大型規格農薬の普及拡
大を図るとともに、魅力ある価格
設定に努め、予約購買を基軸とし
た安定供給に取り組みました。

また、住宅リフォーム・シロア
リ防除・電化製品・寝具など、
皆さまの生活がより豊かになる提
案を行いました。

販売事業

生産から販売までをキーワード
に安全・安心な農産物の安定供
給体制確立を基本とし、農産物
の販路拡大・販売手法の多様化・
品種の集約等に努めるとともに、
新たな加工品の開発・販売や各
種PR活動、農業者の所得増大に
取り組みました。

保管事業

利用事業

準低温・低温倉庫に集約保管
を行い、倉庫の効率的な運用と適
正な保管管理に努めました。

【大型共同乾燥調製施設】

施設の効率的な運営を目指し、
サテライト化を拡大しました。

【共同利用施設】

育苗施設の有効活用として、
水稻・露地野菜苗の生産供給を
行いました。

【農産物加工施設】

大豆テンペ・味噌・米粉パン・
惣菜等、地元の農産物を生かし
た農産加工を行うとともに、食
品衛生管理に関する研修会を開
催しました。

宅地等供給事業

農地等売買の仲介や組合員の資
産活用としての賃貸住宅・店舗の
建設等の斡旋に取り組みました。

管理・経営等

農用地利用 調整事業

耕作放棄地の発生防止ならびに
担い手への農地集積促進のため、
「農地利用集積円滑化事業」や
「農作業受委託事業」に取り組み
ました。

高齢者福祉事業

助け合い組織「かがやき」協力会
員により、サロン・ミニサービス
等を各地で開催し、生きがいと交
流の場の提供に取り組みました。

旅行事業

岡山空港発の定期便を使った国
内各方面への旅行と、チャーター
機を利用した質の高い旅行を実施
しました。



総代会資料

不祥事再発防止、公認会計士監
査への対応として内部統制の整備
を進め、法令等遵守態勢、内部け
ん制体制、内部監査体制の実効性
向上および強化を図りました。
また、施設の効率的な運用に努
め、支所の改修工事、倉庫の整備工
事等、組合所有施設の整備を行
いました。

本記事では概略をご報告させて
いただきました。詳細については、
各支所営農センターへ備え置いて
おります「通常総代会資料」およ
び「ディスクロージャー誌」また
は、JA岡山ホームページにて公開
しております「ディスクロージャー
資料」をご確認ください。

野菜

次に栽培する秋冬野菜の準備を始めましょう



営農部指導課 中江 智子

ちょっと早めの夏野菜の片付け

暑さがいつそう厳しくなってきましたね。夏野菜の収穫が楽しい時期ですが、そろそろ秋冬野菜の準備を始めてみてはどうでしょうか？

収穫終了の判断

品目によっては8月に入ると少しずつ収穫量が減り、果実の形も悪くなってきます。さらに葉や茎が黄色くなってきたら収穫終了のサインです。次に栽培

花き

大きめのポットで、肥料切れしないようにすれば側枝もよく出ます



営農部指導課 中川 雄一

花壇用ストック苗の育成に挑戦してみましょう。花言葉は「永遠の美」。寒い季節から春まで芳香と美しい花色を贈り続けるストックです。花壇用の品種には、キスミ、ベイビーなどのシリーズがあります。

種播き

品種や栽培環境による違いがありますが、8月中に播き、順調に生育すれば寒くなる前に開花させることができますでしょう。

ただし発芽適温は20〜23℃で高温では発芽不良になるので、発芽までは遮光をしてできるだけ涼しいところで管理しましょう。立枯れが出やすい時期なので清潔な市販の育

する野菜が決まっている場合はほ場の準備に移りましょう。

ほ場の片付け

栽培が終了したら株を引き抜いて根を地上に出します。その後、数日間ほ場で乾燥させるとかさが減り、処分するのが楽になります。引き抜いた株は病気の発生源となるだけでなく、害虫の隠れ場所にもなるのでほ場外に持ち出して処分してください。

使用した支柱やネットはほ場から持ち出して洗浄し、しっかりと乾かして保管してください。

土壌の消毒

夏の暑さを利用して土壌消毒を行います。ほ場全体をよく耕した後、水をたっぷり染み込ませて透明のビニルやポリフィルムで密閉します。フィルムの端は土などでしっかりと押さえてください。2週間〜1カ月ほどでフィルム内が高温になり、土壌表面の害虫などが死滅

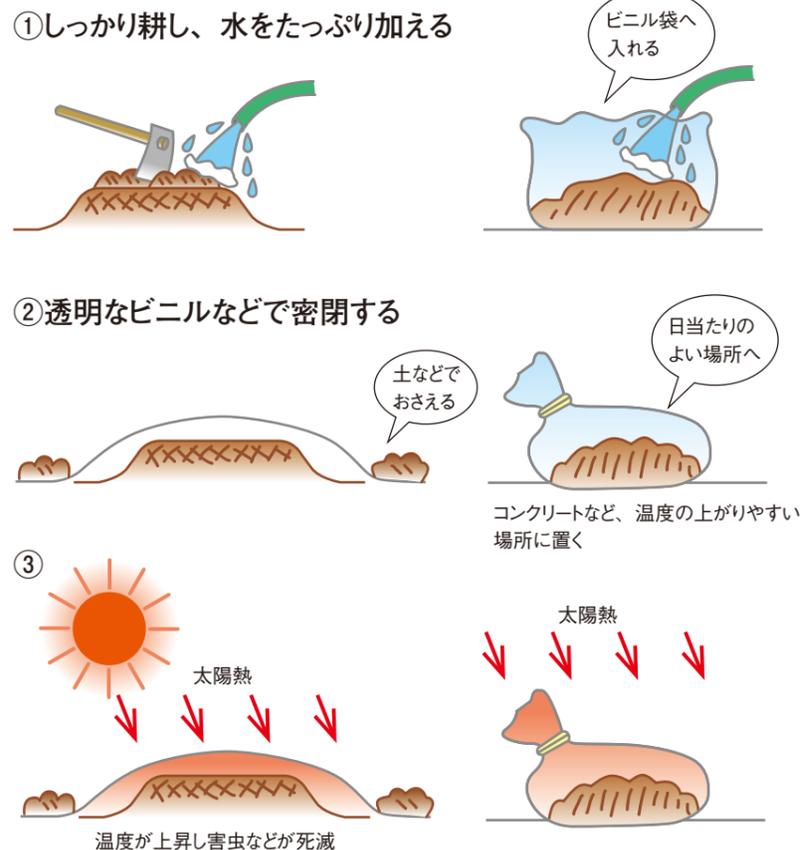
します。プランターの土はビニル袋に入れ、日当たりのよい場所に置くことで同様の効果が得られます(資料1)。

土壌の栄養補給

秋冬野菜に限らず、栽培前にはほ場の準備として苦土石灰(通常10平方メートルあたり1銚程度)や堆肥などを施用して

よく耕してください。残さや雑草、石などが目立つ場合は取り除きましょう。石灰の施用については、じやがいの栽培を考えている方は注意が必要です。じやがいは土壌が中性〜アルカリ性になると「そうか病」が発生しやすくなるので、石灰の施用は控えましょう。

資料1 太陽熱を利用した土壌の消毒



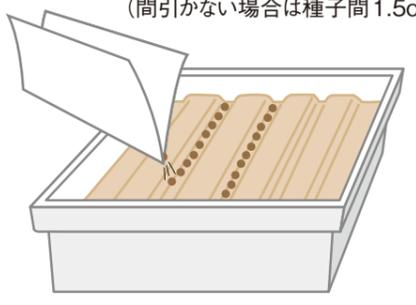
苗培土を使い、雨のかからない場所で育てると安全です(資料2)。平鉢などに筋播きにして5〜7cm程度覆土後、優しく充分かん水します。深さを均一にすることが八重鑑別成功の秘訣です。発芽が揃い、双葉が開いたら徐々に遮光をとり、八重鑑別をします。販売用だと、約半分の一重株は捨てますが、自家用なら一重だけ集めて植え込むこともできます。

八重鑑別の方法

資料3を目安に一重を間引きます。

資料2 播種方法

条間4〜5cm、種子間0.5〜1cmに播き、5mm程度覆土(間引かない場合は種子間1.5cm)



資料3 双葉での八重株の見分け方

| | 双葉の色・形 | 双葉の大きさ |
|----|----------|------------|
| 八重 | 色が淡く丸くない | 長く幅が広い |
| 一重 | 色が濃くて丸い | 小さくて硬そうな印象 |

①鉢上げと施肥ほか 本葉3枚のころ、10.5℃ポットにあげます。活着したら、緩効性肥料を置き肥するか、生育に応じて液肥を施用し、やや旺盛に育て

育苗管理

- ①一重は発芽が遅いので、早いものを残します。(覆土が均一だと分かりやすい)
- ②双葉の色が濃く、クルツと丸いのは一重。
- ③双葉が小さくて硬そうなのは一重。
- ④本葉が出ると縁が波打っている方が八重。

ます。大きめのポットで、肥料切れしないようにすれば側枝もよく出るので、開花株を花壇やプランターに植えて楽しみましょう。比較的低温にも強い花ですが、土壌の過乾燥や過湿のないよう管理しましょう。

資料4 ストックの主な防除薬剤

| 農薬名 | 対象病害虫 | 希釈倍数 |
|-------------|----------------|--------|
| コテツフロアブル | コナガ、ハダニ類 | 2,000倍 |
| アディオン乳剤 | アブラムシ類、ヨトウムシ類 | 2,000倍 |
| オルトラン水和剤 | コナガ、ハイマダラノメイガ | 1,000倍 |
| フェニックス顆粒水和剤 | ハスモンヨトウ、オオタバコガ | 2,000倍 |
| トップジンM水和剤 | 菌核病 | 1,500倍 |

②防除 アブラムシやコナガなどが主な害虫です。資料4の主な薬剤を参考に予防しましょう。

果樹

収穫後の管理に気を付けましょう



営農部指導課 小野 智寛

8月は桃やブドウ、梨、イチジク、ブルーベリー等の夏果実の収穫時期になります。これまで愛情を注いで育てた果実がようやく成熟します。一方で、樹が来年にむけて養分を貯蔵する時期へと移り変わっていきますので、収穫後の管理にも気を付けましょう。また、秋果実は最後の追い込みとなりますので気を抜くことなく管理し、収穫期を迎えましょう。

一 柿の管理

カキノヘタムシガ(資料5)は、平年であれば6月と8月の年2回発生します。防除適期は発蛾再盛期の1週間が適期となります。7月末から8

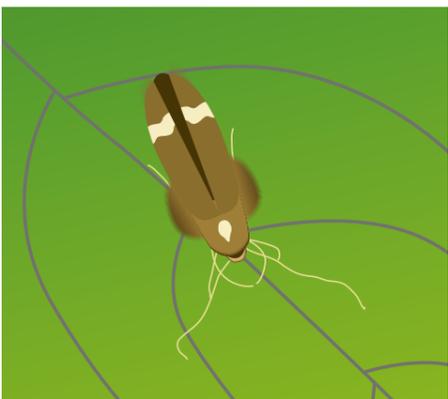
月中旬にかけて防除を行いましょう。6月に被害が多かった場合には8月も発生が多くなりますので注意が必要です。防除薬剤としては、スミチオン乳剤の1,000倍液または、オルトラン水和剤の1,500倍液にトップジンM水和剤1,500倍を加用散布することで炭そ病・うどんこ病の同時防除を行うことができます。

二 収穫後の管理について

収穫が終わった後も、樹は翌年にむけ栄養分を体内に蓄える必要があるため、しっかりと光合成できる健康な葉や根の維持が必要になります。収穫が終わった後は『ありがとう』の気持ちをこめて肥料を与えてやりましょう(資料6)。使用する肥料は速効性のものが適しています。病害虫が発生している場合には防除を行います。

(例)桃、ブドウなどに礼肥として「NN高度化成604」を使用する場合、樹1本あたり500g〜700g程度を樹の幹から1m程度離れた場所に施します。施用後は土と軽く混ぜ合わせ、灌水を行います。

資料5 カキノヘタムシガ



0 10mm

資料6 礼肥の施用

